

■ 第3回会議録

日時 平成 21年9月28日(月)10:40 - 12:00

場所 福井 キャンパス管理棟特別会議室、小浜キャンパス TV 会議室

出席 交野、新宮、黒川、木元、本田、大武、菊沢、山川、事務局(秦、田中、川田)

欠席 塚本、飛田、大竹、事務局(大野、吉田)

議事の概要

1. FD事業について

(1)授業評価について

①前期結果について

資料に基づいて、実施状況および結果が事務局より説明された。授業評価を始めて6年目となるが、各部局とも一定の値に収束しつつある状況が認められ、本学全体としての教育力をチェックする意味で今後も続けて行く必要があることが確認された。経済学部調査票の回収率が低いことが指摘されたが、これは学部の特性に原因があるものとの推測意見が出された。すなわち経済学部では4年間で一定の単位を取れば良いために履修届けを提出しても実際に履修しない率が高いためである。

②授業評価アンケート改訂案について

各部局での審議結果について報告され、海洋生物資源学部以外の部局では特に意見はなく了承された。

海洋生物資源学部からは以下の2つの意見が提出され、チームとしての対応が議論、決定された。

- 1) 教員(個人)あてのフィードバックをわかりやすくしてほしい(「授業の平均点」「標準偏差」といった数値および自由意見のみでは、全体としてどのような評価なのか実感できない)。

チームの対応

個人あてに結果を送付する際に、全体の結果が本学 HP 上に up されている旨とその URL を通知し、自身の結果と照らし合わせて判断してもらうようにすることとした。

- 2) Q2(先生の講義方法)については、質問の意図を学生に適切に伝える(「プロジェクトの使用、学習支援システムの活用」の「仕方」が適切かどうか尋ねる、それらを「使用・活用していることが適切」という誤解を与えない)ため、(敢えて)()内は削除した方がよいのではないか。

チームの対応

改訂前のアンケートではこの設問を使用しており、何ら問題が無かったこと、および、Q2の括弧内を削除すると実質的にQ5の設問と区別がなくなってQ2は必要なくなると思われるので、括弧内は残すこととした。ただし、“学習支援システム[BbLS等]の活用”の部分は“学習支援システム等の活用”に修正することとした。

③後期および今後について

1)授業評価

例年どおりの時期に現行の授業評価アンケートで実施することとし、実施時期は補講期間を入れて、平成22年1月18日(月)～2月8日(月)とすることとした。

新アンケートによる授業評価は平成22年度前期から実施することとした。

2)授業公開

前期と同様に各部局チーム員主導で実施することとした。

2. その他

① 学習支援ツールの今後の使用について

本学では **BbLS** が導入されているが、数年後にライセンス契約更新となり、それ以降継続して使用できるかどうか明確ではない。また、メーカーの都合でソフトの乗り換えを強いられる可能性もある。更に維持費も高額である。現在 F レックス内では学習支援ツールとして **moodle** が使用されており、本学の教官もそちらに移行していく傾向にある。以上の状況を考慮すると学習支援チームとしても F レックスの **moodle** を正式に本学の学習支援ツールとして支援する体制を構築していく方向性を明確にすべきではないかとの提案がされた。とりあえず、**BbLS** から **moodle** に移行することについて各部局の使用者の意見(移行すると不都合な点等)を各チーム員が聴取することとした。

② F レックスの教材作成サポートの件

山川教授より以下の提案があり、了承された。

F レックスで運用中の LMS, SNS, eポートフォリオを利用して学習コミュニティの形成を試みる取組に、学生アルバイト代のサポートを行う予定である。F レックスのシステムで使うコンテンツの作成や調整等に学生アルバイトを使う場合に利用できる。詳細に関しては、F レックス内で検討したのち、教育・学習支援チームを経由して学内に周知を行う。

③ FD 報告書

例年どおり作成することとした。

④ 次回会議開催予定

平成 22 年 3 月上旬